

市川市議会は毎年2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。
市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月に各定例会号を発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。

いちかわ

市議会だより

2014年(平成26年)第209号

1月1日(祝)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>

市議会議場の変遷

昭和9年の市川市誕生後、翌10年に旧市庁舎が竣工するまでは、旧八幡町役場を仮庁舎としていました。旧市庁舎は約24年間使用され、昭和34年に庁舎が建て替えられる(現在の第一庁舎)と、議場は議場棟の3階に置かれました。その後、第二庁舎の竣工(昭和46年)を経て、昭和54年、第三庁舎の竣工に伴い、その5階に議場が移され、現在に至っています。



1959

新庁舎(現在の第一庁舎)竣工



議場棟3階にあった議場

1934

市制施行
第1回市川市議会開催



旧庁舎と第1回市議会議員

1971 第二庁舎竣工

1979
第三庁舎竣工



現在の議場(第三庁舎5階)

80 2014年、市川市議会は周年を迎えます。

The 80th Anniversary of ICHIKAWA City Council since 1934

市川市議会 議会改革のあゆみ

- 平成10年 インターネット市議会ホームページを開設
- 平成12年 2月定例会から夜間議事を試行的に実施(～平成14年2月定例会) CATVでの代表質疑録画中継開始
- 平成14年 インターネット市議会本会議中継(ライブ・録画)開始 11月臨時会で市川市議会議員定数条例を制定(定数44人を42人に削減)
- 平成16年 議場を開放して市民コンサートを実施
- 平成20年 採決表示システムを導入 案件に対する各議員の賛否を市議会ホームページ上で公開 会派別質疑制及び質疑・質問における一問一答制(選択式)を導入 9月定例会分より、常任委員会記録を市議会ホームページ上で公開
- 平成22年 会議出席費用弁償を廃止 議会の意見を次年度予算に反映させることを目的として、決算審査特別委員会を9月定例会中の開催に変更
- 平成24年 議会改革検討協議会を設置、改革に向けた具体的協議に入る
- 平成25年 9月定例会より、常任委員会及び決算審査特別委員会におけるタブレット端末の使用を試行的に実施

2014

「安心で快適な活力のあるまち」をめざして

本年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新しい年を迎え、総合計画第二次基本計画の目標としている「安心で快適な活力のあるまち」の実現に向け、議員一同、全力で取り組んで参る所存であります。

皆様にお願い申し上げます。

また、少子高齢対策、地域医療対策、地域経済対策など様々な行政課題を乗り越えていくため「行政改革大綱」を策定し、25年度からスタートしたところでございます。

本年は、市制を施行して80年という節目の年を迎えますが、財政状況とそれを巻き起こす社会情勢が不透明な中で、市議会といたしましては、確実な財源措置を図るために、行政と一丸となってこれまで以上に効率的な市政運営を進めていかなければならないと考えております。

新しい年を迎え、総合計画第二次基本計画の目標としている「安心で快適な活力のあるまち」の実現に向け、議員一同、全力で取り組んで参る所存であります。

また、少子高齢対策、地域医療対策、地域経済対策など様々な行政課題を乗り越えていくため「行政改革大綱」を策定し、25年度からスタートしたところでございます。

本年は、市制を施行して80年という節目の年を迎えますが、財政状況とそれを巻き起こす社会情勢が不透明な中で、市議会といたしましては、確実な財源措置を図るために、行政と一丸となってこれまで以上に効率的な市政運営を進めていかなければならないと考えております。

また、少子高齢対策、地域医療対策、地域経済対策など様々な行政課題を乗り越えていくため「行政改革大綱」を策定し、25年度からスタートしたところでございます。

本年は、市制を施行して80年という節目の年を迎えますが、財政状況とそれを巻き起こす社会情勢が不透明な中で、市議会といたしましては、確実な財源措置を図るために、行政と一丸となってこれまで以上に効率的な市政運営を進めていかなければならないと考えております。

また、少子高齢対策、地域医療対策、地域経済対策など様々な行政課題を乗り越えていくため「行政改革大綱」を策定し、25年度からスタートしたところでございます。

市議会議長 岩井清郎
市議会副議長 松永鉄兵

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、明るく希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会に對しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国の経済情勢は、政府の推進する経済対策への期待から、円安・株高が進み、内閣府による月例経済報告では、「景気は緩やかに回復しつつあるものの、一方で、海外景気の下振れが、引き続き景気を下押しするリスクとなっている」とされており、依然として、財政を巡る環境の先行きは不透明な状況であります。

そのような中でも、9月に、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックが5年ぶりに東京で開催されること決定し、これによる景気の底上げが期待されるところであります。

さて、市政におきましては、昨年、本八幡駅北口A地区市街地再開発事業の第一期工事が完成を迎えました。これにより災害時の避難場所の確保や防災性の向上が図られるとともに、地域の活性化にも期待が寄せられております。

そして、10月には、クリーンセンター延命化工事が完了するなど厳しい財政状況にある中、本市の将来を支えるビッグプロジェクト事業が着実に完成を迎えたことは大変喜ばしいことでもあります。